

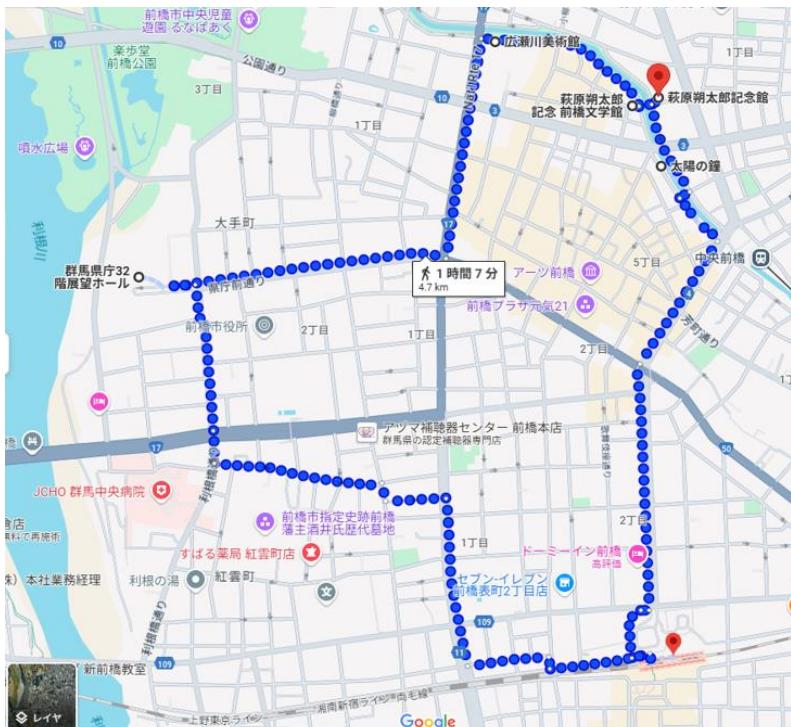
2025年1月度ハイキング前橋の街歩き(朔太郎と歩く文学散歩)の報告

2025.1.11

2025年1月10日(金)、寒い冬の一日、萩原朔太郎の足跡をたどる前橋の街歩きを行いました。前日の予報では、気温7°C、北西の風7mと寒波襲来の事で、皆さんしっかり防寒対策して参加して頂きました。当日、皆さんの心がけも良かったのか、予想より風も吹かず、日差しがあり、ますますのお天気の中、12名の参加で行つきました。

「水と緑と詩(うた)の街」と呼ばれる前橋、市内を流れる広瀬川にそった散策道には、文学館、詩人の詩碑、モニュメントなどが点在しており、冬の一日、街歩きを楽しんできました。

コースは下図の青点線のルートでした。



10:00 JR前橋駅に集合



10:05 前橋駅前通りを広瀬川に向かう。



10:10
上毛電鉄の前橋
中央駅、洒落た駅
舎でした。



10:15 広瀬川

河畔に整備された散策道は「詩の道」とよばれ、道沿いに 詩(句)碑が多く建てられているほか、道の路面に敷き詰められたレンガにも詩が彫られていました。



広瀬川白く流れたり
時さればみな幻想は消えゆかん。
われの生涯を釣らんとして
過去の日川辺に糸をたれしが
ああかの幸福は遠きにすぎざり
ちひさき魚は眼にもとまらず。

「広瀬川」(『純情小曲集』1925)



10:20 「太陽の鐘」



萩原朔太郎賞を受賞した若手詩人の句碑など、散策道に多くありました。



11:15

文学館3階からの朔太郎記念館の全景



岡本太郎氏の作品で、静岡県内のレジャー施設に1999年まで設置されていた。施設閉園後は世間からの注目を浴びることがなかったが、2018年に官民連携事業により、前橋市民の新たな活動のシンボルとして、広瀬川河畔に移設された。



10:25 萩原朔太郎記念館

生家の一部(土蔵、離れ座敷、書斎)をこの地に移築して現在残しているとの事。



10:50 前橋文学館前の朔太郎像とSさん

11:10 文学館内で
詩の朗読に耳
を傾ける。



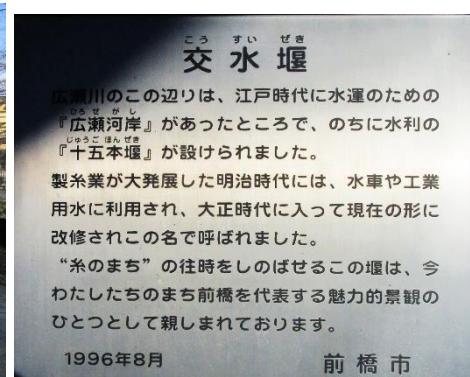


11:20 広瀬川にかかる朔太郎橋の上で集合写真

11:25 広瀬川の交水堰

街中の川にしては水量も多く、とうとうと流れていました。

川沿いを群馬県庁に向かって歩く一行



11:40 群馬県庁へ



32階の展望室、31階レストランでの昼食をめざして歩く。

11:45 高層ビルの足元に残る群馬県庁昭和庁舎



12:00

県庁32階展望ホール

より南方を望む

右手前の橋は

群馬大橋



12:10

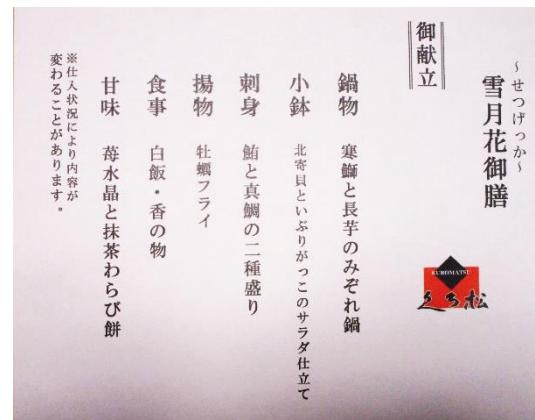
県庁32階展望ホール

より北方を望む

中央はグリーンドーム
前橋



12:40 群馬県庁31階 日本料理「くろ松」にて昼食





13:50 昼食後 前橋駅向かう一行



14:30 前橋駅での解散の挨拶

寒波襲来で東北、北陸では大雪の被害が出ている時で、前橋での寒さ、強風が心配でしたが、幸い気温、風も思ったより穏やかで、無事にハイキングを終了することが出来ました。皆さまお疲れ様でした。また、ご協力ありがとうございました。

前橋は「水と緑と詩(うた)の街」と呼ばれているそうで、市内を流れる広瀬川に沿った場所に、「日本近代詩の父」萩原朔太郎文学館や記念館があり、私は萩原朔太郎に関する知識はあまりありませんでしたが、それなりに楽しめた街歩きでした。皆さん是如何でしたか？
昼食の予約時間に待ち時間があったため、群馬県庁32階の展望ホールで、ゆっくりと四方の景色を楽しむことができかと思います。

コース距離では約5kmくらいでしたが、万歩計では約1.2万歩でしたので、実質7km程度の歩行距離であったかと思います。寒い中、無事に完了できてよかったです。
参加の皆様、大変お疲れさまでした。

次回は、2月7日(金)「物見山のハイキング」が美術工芸科の担当で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

記:加藤 治朗